

## Fitch Ratings のアンモニア、尿素、加里肥料価格の短期予測

2023 年 3 月 14 日発表

2023 年 3 月 18 日翻訳

国際的な格付け会社 Fitch Ratings（フィッチ レーティングス）は 2023 年アンモニアと 2023～24 年尿素、2023～24 年加里の予測価格を引き下げた。ただし、その他の肥料は需給関係に大きな変化が見られないため、想定価格が変更されない。その発表の摘要は下記の通りである。

Fitch Ratings： 化学肥料の国際価格の短期予測（US ドル／トン）

品目	2022 年	2023 年		2024 年		2025 年		2026 年	
	実 際 価 格	旧 予 測 値	新 予 測 値	旧 予 測 値	新 予 測 値	旧 予 測 値	新 予 測 値	旧 予 測 値	新 予 測 値
アンモニア (FOB 中東)	991	750	600	450	450	300	300	280	280
尿素 (FOB 中東)	633	500	350	350	300	270	270	260	260
りん鉱石 (FOB モロッコ)	277	160	160	90	90	90	90	90	90
DAP (FOB アメリカ)	899	550	550	380	380	360	360	360	360
加里 (FOB バンクーバー)	624	460	450	350	300	230	230	230	230

アンモニア予測価格の引き下げは、原料天然ガス価格の低下、2022 年新規生産能力の増加と 2023 年第 1 四半期初頭の季節的な需要の低さにより市場に製品の余剰を反映している。ただし、北半球では作付けシーズンが始まると需要が増加する可能性が高いが、2023 年第 4 四半期および 2024～25 年にはさらに新規アンモニア生産能力が稼働される予定である。

尿素に対して、予測価格をさらに低く設定する理由は、天然ガスの価格下落と、ロシア、イラン、ベネズエラなど経済制裁対象国からの供給が引き続き市場に出回り、相場を圧迫していることを反映している。また、中国は 2021 年 10 月から実施された輸出制限を緩和する可能性があり、2023 年春に輸出量を増加させると予想される。イギリスの調査会社 CRU は、中国尿素的輸出が 2027 年までに 2019 年のレベルに徐々に戻されると予測している。

エジプト、トルコ、ロシア、バングラデシュに於いては、2022年に約800万トンの新規生産能力が稼働された後、2023年から2024年にかけてさらに尿素生産能力の追加が期待されている。これは2023年以降も引き続き尿素価格を圧迫することになるだろう。

加里の予測価格が引き下げられた理由は、カナダが停止している加里鉱山の生産能力の再活性化に対応して、市場価格が予想よりも速い下落したことに加え、経済制裁にもかかわらず、ロシアとベラルーシ産加里の一定量がまだ市場に出回っている。加里の需要は2023年に回復していくが、CRUは加里の需要不振が続いて、2025年までに2021年のレベルを下回ると予測している。

DAPの予測価格が変更されていない理由は、2022年下半年と2023年第1四半期に見られたように、供給過剰が引き続き価格を圧迫する一方で、中国とモロッコからの輸出が増加して、その増加は予想される需要の回復を相殺するだろう。また、2023年から2025年にかけては、主にモロッコのOCPによる新規生産能力の増加に限られる（年間約100万トン）と予想される。

りん鉱石の予測価格に対するFitch Ratingsの前提が変更されていない。りん鉱石に対する需要が2023年も回復が続くと予想しているが、2025年から2026年まではその需要が2021年のレベルを下回ったままである。中国はりん鉱石を原料とするりん酸塩肥料の輸出を依然制限しているが、ヨーロッパのりん酸塩生産は、原料と生産コストが高いため、短期的には低いままである。CRUは、モロッコのOCPがりん鉱石の輸出を2022年の670万トンから2023年に930万トンに増加すると予想しているが、ロシアりん鉱石の輸出は近い将来に低い水準のままで、増加する可能性は低い。